

令和3年度

学生によるオレンジリボン運動

関西学院大学 実施報告書



実施主体 人間福祉学部社会福祉学科 馬場ゼミ

実施内容 令和3年11月1日～11月29日 大学図書館前にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

授業等で児童虐待について、子ども支援・保護者支援・家族支援・関連機関との連携・地域支援の視点から調べ、知識を得た。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・ 2枚の模造紙と児童虐待防止全国ネットワークから頂いたポスター1枚の合計3枚を利用したポスターを、パネルを使い展示する。
- ・ 上記の模造紙やポスターをまとめたチラシとオレンジリボンを、自由に持ち帰ることができるようにする。
- ・ 模造紙にQRコード（Microsoft Forms のリンク）を貼付し、児童虐待についての認知調査を行う。

③オレンジリボン運動を終えて・・・

今回の活動を通して、自分たちの予想していた以上に、アンケートの結果等から沢山の方が児童虐待について興味や関心を持っているということを知った。

またアンケートの回答の中には、「児童虐待の中では身体的虐待が一番多い」と答えた人々が多数いるといった、現状とは異なったイメージや印象を持っている人々もいるということを知った。これらのことから、今後もオレンジリボン運動を継続的に続けていき、児童虐待についての正しい情報や知識を知っていただく機会が必要ではないかと感じた。

写真

